

はまだ議会だより mini

上水道（金城町今福美又系）に500トンの配水池タンク増設を可決！

断水の危機回避策は、これで十分か？

5月19日に臨時会議が開催されました。水道事業会計補正予算（第1号）は、金城町今福・美又・久佐地区の配水能力強化のため、1億5千万円を使い配水池タンクの増設するものです。金城町では、今年の1月を含めて6年間で3度、厳寒時の断水被害が発生しており、断水を発生させない対策が求められていましたが、4月27日の臨時会議では、タンク増設が現時点での最良策とした説明資料などが不十分であったため紛糾し、結局執行部は議案を撤回し、このたび再度の上程となりました。

断水することは、日常生活の根本を損なうものであり、水道法にある「清浄にして豊富低廉な水の供給」は自治体の重要な使命です。

これまでも、土地の低い黒川町から高い今福中央配水池に水を揚げる方式の問題点などが指摘されていましたが、今回の断水原因は、凍結による水道管の破損による漏水と結論づけられています。漏水によって配水タンク（貯水量500ト）の水位

低下が起こり、配水池から離れた地域や標高の高い地域を中心に断水が発生した、との分析です。凍結による漏水が発生した場合でも24時間で対応可能であり、その間の対策として、この11月までに500トンの配水地タンクを今福配水池に増設するという計画です。

断水の原因調査・分析に時間がかかるため、断水という不便を発生させないための第1段階の対応としてはこの案で致し方ないのではないかと、議員それぞれの判断によって、最終的には全会一致で可決となりました。

また、地域住民の不安解消につながるよう、正確な原因把握と説明責任を果たすとともに、最少の経費で最大の効果が出るよう対策を精査し、適正かつ迅速な対策に努めることを求める附帯決議を可決しました。



増設タンクのイメージ

議員のつぶやき

コロナ対策は共通課題！

今回、中国市議会議長会会長という大役を受けることになり、責任の大きさを痛感しています。中国地区管内でも、コロナウイルス感染拡大による住民不安や飲食業を中心とした経済低迷が大きな問題になり、その対策に各市議会も全力を挙げて対処しています。Web開催という選択肢もありましたが、役員市議会議長とも協議を重ね、最大限の感染防止対策を取りながら顔が見える形での開催としました。その中で、コロナ対策に関しても各市議会議長同士で有意義な意見交換ができました。（議長 川神裕司）

議長 4/20

日誌 第148回中国市議会議長会定期総会

昭和35年に浜田で開催されて以来、61年ぶりに中国5県54市の議長・副議長が一堂に会する定期総会がありました。議員表彰の他、各支部から提出された議案の審議を行い、全国市議会議長会へ提出する議案を決定し、その他の議案は関係機関へ要望することとしました。



浜田市議会はSDGsを推進しています。